

# 令和6年度 区長さん役員さんおしゃべり会 区のお困りごと、お悩みごとは何ですか？

## ① 防災活動地域連携事例

上中込区の防災活動前進

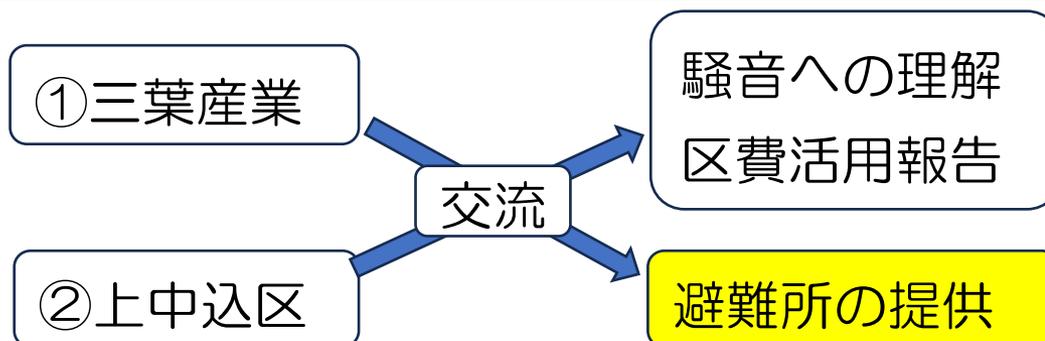
上中込区

1) 2023年10月20日：一時避難所活用協定

◎上中込区と三葉産業とで  
協定を結んだ



互いの課題を 交流により 互いに尊重・協力体制



# 防災活動地域連携事例

上中込区の防災活動前進



**大切**

書面だけではなく、実践した

2) 2024年：連携して防災活動を実施

4月20日：区役員の「工場見学」

5月18日：区役員と社員と一緒に「救命講習会」

9月14日：区民と社員と一緒に「消化訓練・安否確認」

2) 第1回目：4月20日工場見学

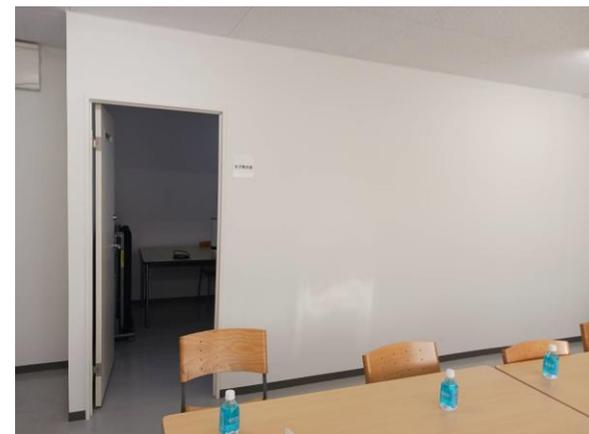
災害対策本部に使える建屋



外貌



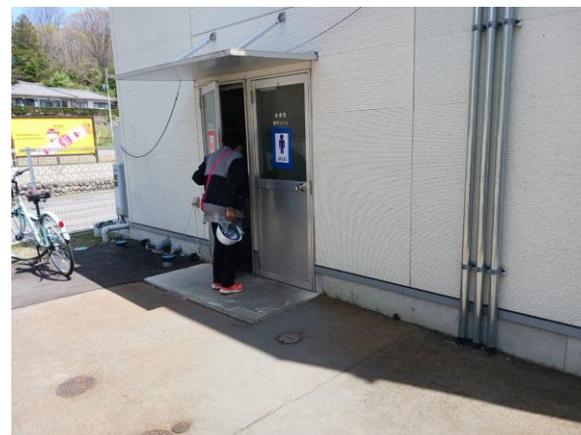
室内



室内更衣室



部屋入口AED



トイレ活用可能

2)①4月20日工場見学

区民も避難できる建物と車避難用駐車場



建屋入口



広い室内

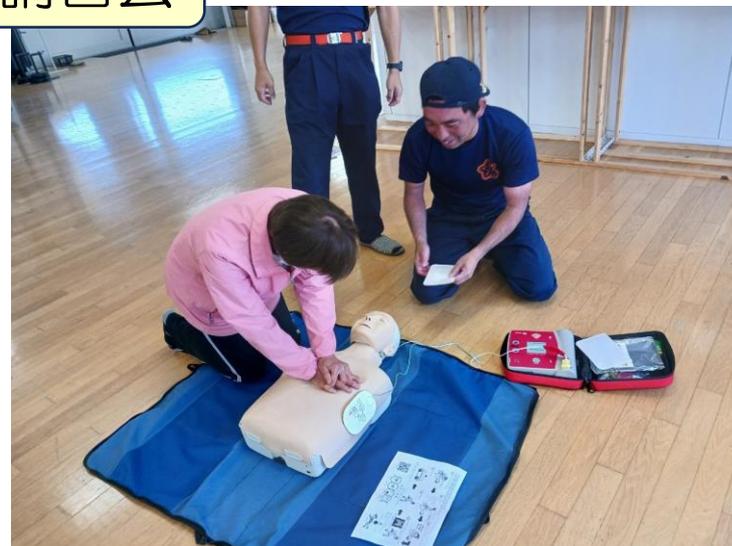


自動販売機使用可



駐車場の一部

2) 第2回目：5月18日合同救命講習会



2) 第3回目：9月14日合同消化訓練



### 3) 上中込区長小林さんの感想

- 「避難する場所を区民が知っておくことが大切。
- 避難場所の企業さんとの顔が見える関係を構築しておくことによっていざというときに役に立つ」



訓練後区民と社員で  
プルーン狩りで交流



## ②、地区初の女性区長

半田かつ江さん（4年目）

岩村田本町区（59世帯、103人）

### 1、引き受けた経緯

52軒/54軒

高い高齢化率と男性区長経験済みの方ばかり。

コロナ禍行事減 ⇒ できるかな

夫のバックアップ

## 2、実績（変えたこと）

### 改善①：2年かけて区費統一

区費が商店や一般家庭などでバラバラだった。  
会計業務を引受けて、区費の一元化を確信。

2年掛けて総会で承認される。

- ①初年度“案を考えている”：説得力ある具体的数値
- ②次年度“昨年提案した案で進めたい：反対なし

### 改善②：各戸訪問集金 ⇒ 銀行引落し

留守宅の空振りなしに  
（区費、社協会費、赤い羽根募金など）

### 3、やり切れた理由



### 相談者の存在

神社の引越しなど大変なことも相談者の存在で乗り切れた。  
前区長、商店街の方、氏子総代

### 4、これからとり組みたいこと

(1) 広報紙などの配りものをボランティアの手で届ける。

多世代交流と安否確認

(2) 仕事していてもできる業務量に

## 5、何故、女性が区長になりたがらない？

※、半田さんが聞いた一般的な女性の一意見

(1)人前で話すのに抵抗あり

(2)宴会の乾杯の挨拶に抵抗あり

⇒ そもそも宴会は必要なの？

(3)PCによる資料づくりが苦手

(4)固定観念がある（女性にも地域の方にも）

○役員は男性がやるもの

女性には保険補導員、赤十字

○何で女性が・・・

### 3、移住3年目で区長経験

田口下町区 山本隆 氏 2020年（令和2年）

田口下町区（167世帯、445人）

#### 1、移住理由：

(1) 趣味が登山

(2) 交通のアクセス良好

(3) 情報収集「いい人いっぱいいますよ」

五稜郭“であいの館”近所の方々の言葉

#### 2、区長になる経緯

(1) 移住2年目で組長・・・周囲のアドバイス  
早期地域への溶け込み

(2) 移住3年目で区長・・・前区長と良好な関係づくり

### ③、移住3年目で区長経験

## 3、改革：自主防災組織改編プロジェクト立上げ

- (1) 自主防災組織の見直し
- (2) 防災マップ作成
- (3) 自主避難計画作成
- (4) ご近助カード作成

## 4、改革例：地区防災マップ作成

(1) 動因：19号台風前区長の苦勞。ゼンリン無償活用。

(2) 課題：地元には根をはっている方の反対意見

- 今のままで不足ない（今まで通り、新しい事への抵抗感）
- 新規住人が少ない
- 域内の先輩・後輩の関係が強い

移住者としての素直な感想

- 他（他県）とのギャップが分からない
- 変えよう、変えてみる、姿勢が弱い
- 意見が少ない、言わない

(3) 決定：多数意見採用（組長15人）

区内住民のために、主旨説明し作成決定

(4) 実施：少人数（9人程度）、多様なメンバーで作成

- ① 極力若手登用（新たなことを受け入れ易い）
- ② 多様な職種・世代（行政、JA、自営、消防、民生児童委員、駐在所、区内の過去を知る人）

# 移住3年目で区長経験

## 5、何故、3年目でやり切れた？

◎相談できる人の存在

- ①前区長（同学年、同業、転勤族 ⇒ 共感 ⇒ 日常相談できた）
- ②元議員（副議長経験、高齢だが柔軟な発想）
- ③若い世代（組長）の協力
- ④市各担当職員の協力（分からないこと、おかしいことは相談）

## 6、反省点：1年は短い

◎様々実施したが、定着化が課題

- ・防災マップ、避難計画書などの活用
- ・「ご近助カード」作成、決定したが運用面の定着化  
→毎年説明会は実施しているが・・・

◎区体制の根本的な見直しが大きな課題と思料

# 区長会長さんのお話し

佐久市区長会長 柳澤 本樹氏

佐久市(43,767世帯97,456人)

佐久市区長会長にて

## 1、役員なりて不足

- (1)高齢化 (60才代 ⇒ 70才代)
- (2)区の人口減
- (3)対象者限られる

## 2、佐久市区長会で検討

- (1)業務の軽減
- (2)女性の積極的登用
- (3)合併(構成員減の区)

## ④ 区長会長さんのお話し

### 3、区の合併 難しさ

(1) 埼玉県A市：「補助金交付要綱」制定

●未だに合併した区なし

(2) 困難要因いろいろ

- 各区の事情、思い
- しがらみ（過去から）
- 個人的感情
- 今後の付き合い方
- . . .

## 4-1、行事見直し（業務軽減）

〈西耕地区事例〉

西耕地区（191世帯452人）

(1) コロナ禍で行事中止



再開難儀



「行事在り方評議会」開催（一般公募者9人を含む17人）



(2) 行事は36

- ① 行事の由来
- ② 今までのいきさつ
- ③ 現在の状況
- ④ 今後の在り方

区民の意見  
聞き取り



評議会で  
検証・まとめ



区民総会へ提案

## 4-2、行事見直し（業務軽減）

〈西耕地区事例〉

### 継続困難意見

- 特定の人で実施
- 少数の子どもと父母により実施

ボランティア

- ・十日夜のわら鉄砲
- ・甘茶配り
- ・おかがり

区民協力  
区民全体で